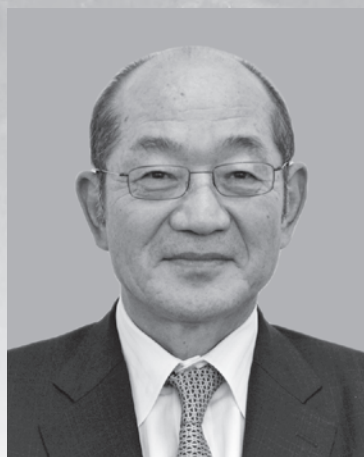


年頭所感

秋田県中小企業団体中央会

会長 藤澤 正義



新年あけましておめでとうございます。平成28年の年頭にあたり、会員組合及び組合員企業の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、日頃より本会の事業運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、本会は創立60周年の節目を迎え、11月には創立記念式典並びに祝賀パーティを開催致しましたところ、多数のご臨席をいただき盛会裡に終了することができました。これもひとえに皆様のご支援の賜と、心より感謝申し上げます。

さて、平成27年の我が国を振り返りますと、15年ぶりに日経平均株価が2万円台の高値を記録、有効求人倍率がバブル期以来の高水準となったことに加え、大手食料品メーカーや外食チェーン等が相次いで値上げを表明するなど、景気回復とデフレ脱却が地方に本格的に波及することが期待されましたが、その後は足踏み状態に戻るなど、一喜一憂の1年でありました。

一方、本会が昨年実施した中小企業労働事情実態調査の結果によれば、6割以上の中小企業が労働力不足・人材不足を訴えており、厳しい時代を生き抜くための経営革新や新分野進出に向けた優秀な人材の確保が難しくなっていることが明らかになってきております。

このような状況の中、新たな年を迎え、本会では活動指針として掲げております「強い組合・強い企業づくり」を実現するため、会員組合や組合員企業の皆様への巡回訪問を強化するとともに、迅速な課題解決に向けた専門家派遣や新設組合に対する集中支援、さらには地域資源の有効活用による地域経済活性化を目指した企業連携に対する支援などを行うこととしています。

昨年10月には、秋田県において「あきた未来総合戦略」が策定され、「産業振興による仕事づくり」など4つの基本目標が明示され、人口減少の克服や持続可能な秋田の創生に向けた取り組みが始まっており、経済団体の一翼を担う本会としても、持てる力を十分に発揮してまいります。また、引き続き「ものづくり補助金」の秋田県地域事務局として、企業の新製品・新サービスの開発に向けた支援も行ってまいります。

さて、今年は「申年」です。申年生まれである元経団連会長の土光敏夫氏は生前、「考えるより当たれ。体当たりによって生きたアイデアが生まれる。」という名言を残しています。私たちも組合・企業の経営において机の上で考えるよりも「行動」することで新しい時代を切り拓いていきたいと考えております。

今後も、環境の変化や皆様のニーズを的確に捉え、本会が培ってきたノウハウとコーディネート力を如何なく発揮することにより、皆様から信頼される中央会として質の高い支援やサービスを提供してまいります。

皆様のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年頭所感

秋田県知事

佐竹 敬久



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、創立60周年を迎えられ、記念事業を通じて、皆様のこれまでの歩みや実績を振り返り、中小企業組合の中核的支援機関としての重要性が改めて認識されるとともに、県、商工会連合会と共同で開催した「秋田まるごと市in東京ソラマチ」では、大勢のお客様で賑わい、皆様のご尽力により、県産品の知名度向上や販路拡大につながりました。

また、産業分野では、再生可能エネルギー関連産業の拠点化に向けた洋上風力発電や大規模地熱発電の取組、航空機産業を担う人材育成の始動、自動車産業や情報関連産業等、今後成長が見込まれる分野の企業誘致など、県内企業がチャレンジしやすい環境整備が大きく前進した一年でありました。

さて、本県では、昨年10月に「あきた未来総合戦略」を策定したところでありますが、人口減少や少子高齢化、それに伴う経済規模の縮小など、本県における長年の構造的な課題を克服するためには、地域の持続的発展に必要な施策を見極め、地道に、息長く取り組んでいくことが重要であり、こうした観点から、秋田の創生のため、今こそ腰を据えてじっくり取り組むべき攻めの施策を多数盛り込んでおります。

真の地方創生を実現するためには、住民自らが地域の活性化に向けた企画・提案を行い、地域の創生に積極的に参画するという意識改革が必要であり、県では、そうした県民や県内企業の取組について、拙速にその成果を判断することなく、戦略的かつ継続的に支援することとしており、「中小企業振興条例」の理念に則し、商工団体と連携した相談機能の強化や円滑な事業承継に向けた取組等を促進してまいります。

加えて、「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づき、県民の皆様が潤いと真の豊かさを実感できる「高質な田舎」を目指し、全力で取り組んでまいります。

中小企業団体中央会におかれましては、会員組合及び組合員企業が有する力を最大限に発揮できるよう、競争力強化に向けた支援に、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって希望に満ちあふれた飛躍の年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会長 大村 功 作



明けましておめでとうございます。平成28年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年6月に会長に就任後、初めて迎える新年であります。新会長として半年間を振り返りますと、消費増税後の内需低迷の長期化に加え、中国経済の停滞による外需の減退により、多くの中小・小規模事業者は、昨年も景気回復の実感が得られない厳しい年でした。また、消費税の複数税率制度の導入やTPP（環太平洋パートナーシップ協定）の大筋合意など、中小・小規模事業者を取り巻く事業環境は、急速な変革を迎えることとなりました。

政府は、新たに「新・三本の矢」を掲げるとともに、サービス業の生産性向上に向けた数値目標を設定するなど、「地方創生」「一億総活躍社会」の実現に向けて様々な政策の推進を図っています。

こうした中、昨年11月20日に沖縄県宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開催した第67回中小企業団体全国大会では、中小・小規模事業者が連携・組織化を一層推し進め、IT投資や省力化投資を促進し、生産性の向上の担い手と地方創生の牽引役となること等の宣言をいたしました。

明けて平成28年こそは、全国の中小・小規模事業者が「稼ぐ力が付いた」と実感できる年になることを強く期待しています。そのためには、生産性の向上によって利潤の獲得と内需・消費拡大を進め、地域資源や農商工連携の促進、TPPの活用を踏まえた海外展開や観光関連産業間の連携強化など攻めの経営力強化と人材の育成・確保について、組合をはじめ中小・小規模事業者が「群」となって積極的に取り組んでいく必要があります。

まもなく、東日本大震災発生から5年となりますが、被災県の復興はまだ道半ばという状況です。復興の加速化に向け中央会の持つ組織・人的ネットワークをフルに活用して、最大限の支援の継続を行って参ります。

本会は、今年創立60周年を迎えます。多くの先人のご努力によって培ってきた全国中央会の運営に携われることを誇りに、「団結は力、見せよう組合の底力」の具現化に向けて邁進して参ります。

本年が、中小・小規模事業者が持ち前のバイタリティを大いに発揮し、良き1年となりますことをご祈念申し上げまして、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

平成28年元旦

年頭所感

株式会社 商工組合中央金庫

秋田支店長 片山 雅史



明けましておめでとうございます。平成28年の新春を迎えるにあたり、秋田県中小企業団体中央会並びに会員組合、組合員企業の皆さまに、年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年のわが国経済を振り返りますと、海外経済の減速が国内に波及し、景気回復は緩慢なものとなりました。具体的には、日本銀行による金融緩和の継続や、雇用環境の改善が成長を下支えしましたが、新興国経済の不透明感から輸出の伸び悩みや国内生産活動の停滞につながりました。また、一部の業種では円安に伴う仕入価格の高止まりや、労働需給の逼迫による人件費負担の増加などもあり、景況感の回復に遅れが生じました。

当金庫の「中小企業月次景況観測」による中小企業の景況感も、景況判断指数は好転・悪化の境目となる50手前での動きが続き、持ち直しに停滞感がみられました。

このような環境のもと、東日本大震災からの復旧・復興に取り組む中小企業の皆さまや、原材料高・エネルギーコスト高の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組んでまいりました。そして、こうした取り組みを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に貢献できるよう努めてまいりました。

中小企業の皆さまの企業価値向上に関しては、ものづくり補助金の情報提供等、国の設備投資促進のための施策と連携するとともに、地域金融機関と協調しながら、地域経済への波及力が高い中核企業や戦略的な海外展開を行う中小企業に、リスクマネーを供給してまいりました。

本年も、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、商工中金の強みであるネットワーク機能、総合的な金融機能を結集し、グループ一体となって皆様の成長、再生支援等に全力で取り組みます。こうした取り組みを、地域の各機関と幅広く連携しつつ、地域の面的なものにつなげ地域経済の活性化に貢献してまいります。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。